

JNCのDNA。

JNC

JNC株式会社 <http://www.jnc-corp.co.jp/>
〒100-8105 東京都千代田区大手町 2-2-1 新大手町ビル TEL. 03-3243-6760

から、JNCへ。

鹿児島県川内川の曾木の滝。その下流に、JNCのルーツである曾木発電所の遺構があります。創業者 野口達がこの地に起業した明治39年当時は、日本の産業革命ともいわれる時代。そうしたなか野口達は、曾木発電所の余剰電力を使い、石灰岩から窒素肥料を製造。輸入に頼っていた肥料の国産化を実現し、さらに日本で初めて合成アンモニアの工業化に成功、生活資材や化学繊維などの各種化学品の製造販売を続々と開始しました。そんな野口達の、豊かな暮らしに貢献したいという想いと、パイオニア精神にあふれた行動力。私たちJNCには、そのDNAが脈々と受け継がれています。

Management Reformist power, R&D Capabilities, Manufacturing technique Development power, Product Development power, Product Creativity

Confidence to Create

Amazing Chemicals

- 液晶パネルの性能向上に貢献 光・熱硬化材料 [アデカオプトマー シリーズ]
- 高い紫外線吸収効果で有機材料を保護 長波長紫外線吸収剤 [アデカスタブ LA-F70]
- 低ハロゲン化による環境対応 高純度エポキシ樹脂 [アデカレジン シリーズ]

お問合せ先
株式会社 ADEKA
〒116-8554 東京都荒川区東尾久7-2-35
<http://www.adeka.co.jp>

【光・熱硬化材料】
【紫外線吸収剤】
【高純度エポキシ樹脂】

情電一G
難燃剤G
基礎三G

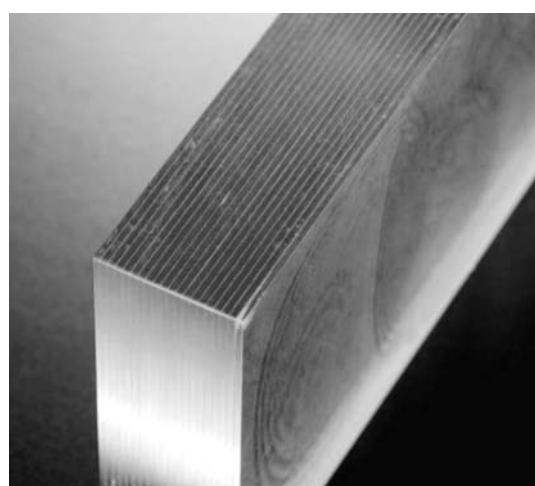
TEL (03) 4455-2836
TEL (03) 4455-2846
TEL (03) 4455-2843

ADEKA
Amazing Chemicals

スマホ・タブレットが市場けん引

タッチパネル

富士経済がまとめた調査によると、12年のタッチパネル用部材の世界市場は前年比61・9%増の約7906億円に拡大。積水化学工業ではインジウムスズ酸化物(ITO)フィルム、のほかに「オンセル」の受注が伸びている。同社は後述の方式がある。

進む薄型化
構造・加工法も多様に

電気化学工業は効率的なタッチパネル切断加工法を開発

住友化学は13年度上期中に韓国拠点でオンセル型タッチセンサーパネルの生産能力を増強している。JSRは13年度にタッチパネル用導電性フィルムの上高を前年度比4倍となる60億円程度に拡大する。自社の樹脂を用いて「GF2」という薄型構造のタッチセンサーを製造する。電気化学工業は効率的なタッチパネル切断加工を開発し、対象はカバガラス一体型パネルで、化学強

液晶ディスプレイ



スマホ・タブレット端末用の高精細中小型パネル(ジャパンディスプレイ)

改善のため、ディスプレイの駆動電圧の低減も試みられている。JNCは中小型パネル向けの開発に力を入れる企業の一つ。中小型ではFSS/IPSと呼ばれる方式が主流だ。視野角が広いほか、タッチ操作などを受ける衝撃にも強いとされている。同社はFSS/IPS方式では両立が難しいとされる省エネルギー性能とコントラストを両立する材料の開発を進めている。さらに粘性を下げるなどして応答速度の改善も図る考えだ。

スマホやタブレット端末 売り上げ面での貢献が小未は画面の面積が小さい、さいといった課題があつたことから、販売台数が増えた。だが米調査会社のNP Dディスプレイサーチによると14年10-12月の携帯電話用ディスプレイの出荷面積は前年同期比約2割増の約300万平方センチとなり、横ばいが続くノートパソコン用モニターの出荷面積に迫りつつある。タブレット端末も同期間の出荷面積は同約2割増の230万平方センチになると推計される。化学メーカーはスマホやタブレット端末に搭載され、高精細化が進む中小型パネル向けの開発に力を入れる。スマホ、タブレット端末で映画などの動画視聴も増えていることから、高いコントラスト比も要求される。また、バッテリー駆動時間

中小型パネルに照準

2012年に続き、スマートフォン(スマホ)やタブレット端末(携帯情報端末)がけん引する液晶ディスプレイ。12年末ごろから先進国向けの高級機種が普及が巡り、新興国向けの廉価品が主流となれば、使われる部材のコモディティ(汎用)化が進む懸念があつた。だが、中国などの新興メーカーも高級機種開発に力を入れており、ディスプレイの高精細化やパネルの薄型化などへの追求は続く。日本の化学メーカーの先端技術が生きる分野であることに変わりはないとみられる。

電子材料

日本合成化学

人を、社会を、地球を、
私たちの技術で包みたい。

私たち日本合成化学は、
“Solution by Chemistry”をテーマに、
高い専門力とお客様とのパートナーシップによる
新たな価値を創造しています。
化学を基盤とした独創的技術によって、
環境に配慮した多彩なソリューションを実現し、
人々の豊かで快適な生活に貢献します。

Solution by Chemistry

www.nichigo.co.jp
日本合成化学工業株式会社

■大阪 〒530-0018 大阪府大阪市北区小松原町2番4号 大阪富国生命ビル TEL.06-7711-5400 FAX.06-7711-5450
■東京 〒108-0023 東京都港区芝浦三丁目9番1号 芝浦ルネサイトタワー TEL.03-6436-2800 FAX.03-6436-2825

育てています、いろんな未来。

産業の未来を育てます。

技術・製品・企業活動をさまざまなSHINKA(進化・深化・新化)させ、
自然環境と調和したより豊かな社会の実現に貢献し続ける積水化学グループ。
私たちは今、未来づくりへの新しい取り組みを次々と育てています。
たとえば、独自技術を高度に融合させた高付加価値製品。
車両分野の高機能中間膜、IT分野の導電性微粒子、医療分野のコレストロール検査薬など、
世界トップクラスのシェアを誇り、幅広い産業の発展に貢献するこれらの製品はすべて、
微粒子技術、粘着技術、精密成形技術といった高度なコア技術が初めて可能にしたものです。
オンリーワンの技術で世の中に新たな価値をもたらすために。
積水化学グループはさらにSHINKAを続けます。

真価を示し、次代を創る。SHINKA その先へ――

SEKISUI

積水化学工業株式会社

〒105-8450 東京都港区虎ノ門2-3-17(虎ノ門2丁目タワー)
お客様相談室: TEL.03-5521-0505(東京)/TEL.06-6365-4133(大阪)
<http://www.sekisui.co.jp/> 積水化学 検索